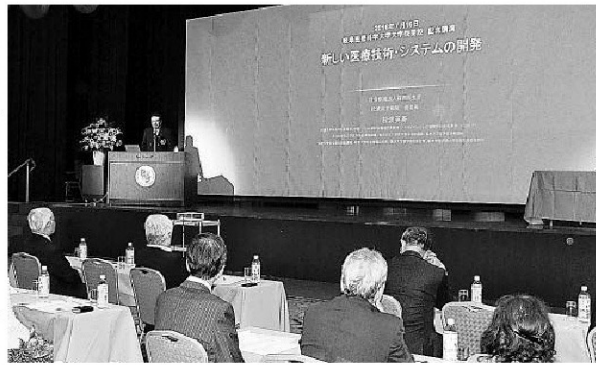


岐阜市

医療の将来像語る

岐阜医療科学大 松波氏が講演
大学院新設記念



関門市平賀の岐阜医療科学大(間野忠明学長)は16日、今年4月の岐阜グランドホテル

岐阜医療科学大の大学院新設を記念して開かれた講演会。岐阜市長良、岐阜グランドホテル

で開いた。松波総合病院(羽島郡笠松町)を運営する社会医療法人蘇西厚生会の松波英寿理事長が「新しい医療技術・システムの開発」と題して講演した。同大は本年度から大学院保健医療学研究科を新設。在宅保健医療、高齢者保健医療、母子保健医療、医療連携展開の4分野に重点を置

き、高度な医療技術を提供した人材の育成に努める。同大を運営する学校

法人神野学園は昨年12月、蘇西厚生会と連携包括協定を締結。講演会は県内外の医療関係者ら約220人が聞いた。

松波理事長は専門分野の肝臓移植手術の事例を紹介した後、人間ドックの検査結果を使った病気予防のためのデータベースの構想などを紹介し「これからの病院に必要なのは連携と機能分化。努力や工夫で地域の医療研究機関を充実させたい」と語った。(伊藤元晴)